

研究・調査報告書

報告書番号	担当
10	滋賀医科大学社会医学講座福祉保健医学部門
題名 (原題/訳) Body mass index and mortality in women: follow-up of the Canadian National Breast Screening Study cohort. 女性における BMI と死亡率の関連について: National Breast Screening Study(NBSS)コホート	
執筆者	
Jain MG, Miller AB, Rohan TE, Rehm JT, Bondy SJ, Ashley MJ, Cohen JE, Ferrence RG	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Int J Obes. 2005. 29(7): 792-7	
キーワード	
BMI 死亡率 コホート研究	
要旨 1980年から1985年にカナダ乳ガンスクリーニング研究コホート National Breast Screening Study(NBSS)に登録した女性 49165人(登録時年齢40歳から59歳)における肥満と死亡率の関係を検討した。平均観察期間は16.5年で2566人の死亡を確認した。総死亡率はBMI22以上で直線的に増加を示し、コックス比例ハザードモデルにて検討すると、BMI18.5から21.9を参照(HR=1.0)とするとBMI18以下で1.12、BMI22-24.9で1.15、BMI25-27.9で1.28、BMI28-29.9で1.34、BMI30-34.9で1.3、BMI35以上で1.4とBMIが増加するとともにHRも増加を示した。アルコール摂取量と総死亡率の関連を検討すると、BMI5あたりのHRはアルコール摂取0g群(1日あたり)1.06、1-15g群1.11、15g以上群1.16(有意差あり)であった。	